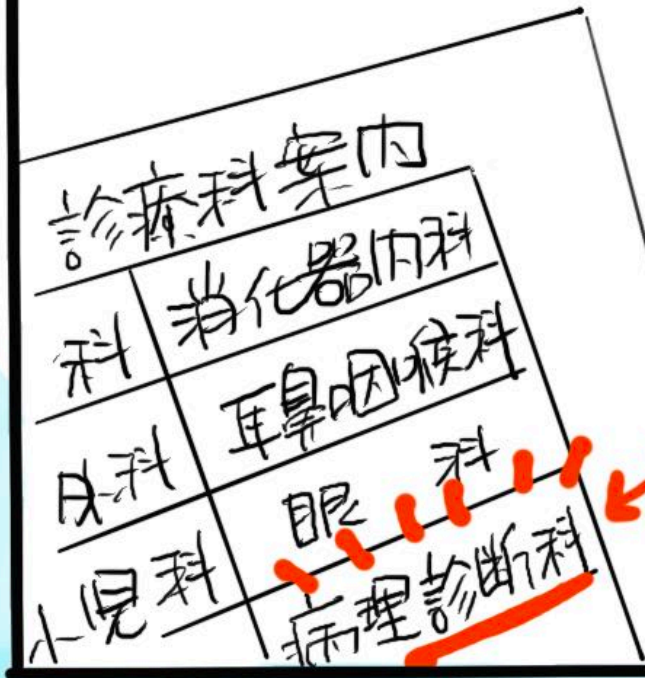


病理医になるには？

パート①「病理医ってなあに」

みなさんは病院のホームページなどで診療科の名前をご覧になったことがありますか？



「病理医」は「病気の理」つまり病気の原因を主に顕微鏡で調べるお医者さんのことです。

病理医は病院の病理診断科や医学部の病理学講座でお仕事しているのです。患者さんと会うことはほぼありません。



手術で悪いところはずべて切り取りました。



できものを切って、病理診断科でみてもらいましょう。



小児科

外科

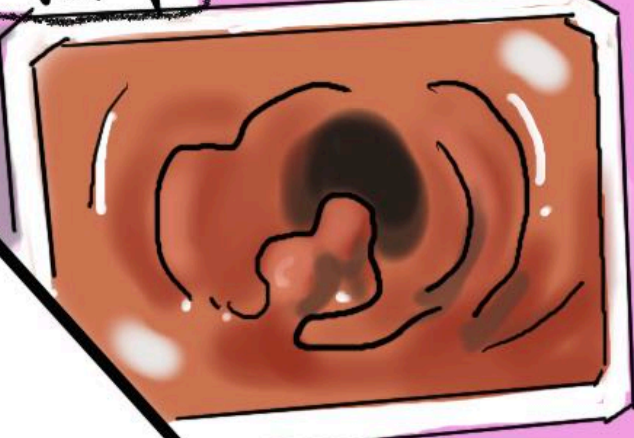
次は病理診断科でガンの広がりや薬の効きやすさ、リンパ節転移などを病理診断してもらいます。

足の裏のホクロは生検して病理診断をお願いします。



皮膚科

ポリープです。胃癌か良性か生検で病理の先生にみてもらいますね。



内科

お亡くなりになった方の解剖をさせていただきます。

病変の一部を調べることを「生検」といいます。生検や手術で切り取られた患者さんの臓器の一部は

病理医が肉眼でよく観察し、臨床検査技師がプレパラートに加工します。その後病理医が顕微鏡でくまなく観察して病気の確定診断をつけ、

病気の進展具合や

治療の選択に役立つ事柄も

調べます。このような

病理診断は、

各科の主治医を通して

患者さんに伝えられ、

治療に生かされます。

病理医は医療の質を保証します。

病理医

縁の下の大事な力持ち。よろしくね！



病理医になるには？ パート② どうしたらいいの？

